

第二回AI日本国際映画祭 - AI Film Festival Japan 2026 | 10月2日よりチケット発売開始！

世界60カ国以上から700件の応募を集め、10月31日（土）～11月2日（月）の三日間、有楽町のTokyo Innovation Baseにて開催



株式会社 AI Film Japanは、2026年10月2日（金）より、「第二回AI日本国際映画祭 - AI Film Festival Japan 2026（AIFJ 2026）」メイン・フェスティバルのチケット販売を開始します。メイン・フェスティバルは10月31日（土）から11月2日（月）までの3日間、Tokyo Innovation Base（TIB）にて開催を予定（*調整中）しています。

第2回目となる今年のAIFJ 2026には、世界60カ国以上から700件の作品応募が集まり、昨年を大幅に上回る応募数となりました。国内外から選出されるAI映像作品の上映・アワードを核に、クリエイター、制作会社、IPホルダー、メディア、広告、テクノロジー企業、スタートアップ、投資家などが交わるプログラムを展開。AIFJは、AI映画祭として始まった活動を、作品を「観る・選ぶ」だけの場から、新しい制作技術を試し、またクリエイティブ産業の課題を議論し、そして次の創作・事業・国際連携へつなぐ場へと拡張しています。

作品を観る。つくる人と出会う。次の仕事や企画につなげる。

チケット販売開始 | 2026年10月2日
購入・参加登録：<https://luma.com/aifilm-yp7c>

一般・クリエイター、学生、業界関係者など、それぞれの参加目的に応じたチケットを用意し、3日間を通じて作品・人・産業が交わる機会を広げます。インダストリーパスでは、アーリーバード割引として3日通し5,000円の限定枠を設けます。

区分	1日券	3日通し券	対象・備考
General / Creator	1,000円	2,000円	上映・Awards・Festival Programを横断して参加
Industry Pass Launch Early Bird	—	5,000円	先着【200】枚／【10月10日 23:59】まで。予定枚数に達し次第終了
Industry Pass Standard	4,500円	9,000円	企業、制作、IP、広告、メディア、Technology、Startup、VC/CVC、投資家等
Student Pass	—	1,000円	受付時に学生証提示必須
Kids 高校生以下(小学生以下は保護者同伴)	無料	—	対象エリア・対象プログラム限定。Business / Industry Program等は対象外
Media Accreditation	無料	—	取材目的。事前審査制

※ 各Passの対象プログラム・入場可能エリア・参加条件、Early Birdの販売枚数・期限等の最終情報はTicket Pageにてご案内します。

AIFJ 2026 メイン・フェスティバル | 3つの見どころ

- 1. 世界60カ国以上から集まるAI映像作品をスクリーンで
国内外から選出される作品・ファイナリストを上映。生成技術そのものではなく、ストーリー、演出、映像、音、編集まで含めた「作品」として体験します。
- 2. CreatorとIndustryが同じ場所に集まる
クリエイターだけでも、企業だけでもない。プロダクション、IP、メディア、アドバー対人ぐ、テクノロジー、スタートアップ、投資家など、異なる立場の参加者が同じフェスティバルに集まります。
- 3. 鑑賞から、次の仕事・企画・コラボレーションへ
11月1日、2日はビジネスカンファレンス / 企業向けプログラムを開催。AIの実装、制作、IP、権利、事業活用、国際連携などを扱い、次の実践へつなげる接点をつくります。

プログラム

10月31日(土)	スクリーニングプログラム 国内外から選出されたAIFJ 2026作品を中心に上映。新しい映像表現、ストーリー、制作手法をスクリーンで体験し、AI時代の映像表現の現在地とその先を考える1日です。
11月1日(日)	授賞式 AIFJ 2026各賞およびSponsored Special Awardsを発表。作品とクリエイターを中心に、AI時代の新しい表現と創作の現在地を可視化します。
11月1日(日)～2日(月)	ビジネスカンファレンス / 企業向けプログラム 企業、IPホルダー、制作会社、広告、メディア、Technology、Startup、Investor、そしてクリエイター等が集まり、生成AIの実装、制作、IP、権利、事業活用、国際連携などを議論します。

＊詳細タイムテーブルは10月以降、順次発表します。

作品の創造性と、AI時代の新しい表現に光を当てる

AIFJ 2026では、授賞式に加え、テクノロジーパートナーとのスポンサー特別賞（Sponsored Special Awards）も展開します。映像生成だけではなく、制作ワークフローや音声表現など、AI時代に広がる新しいクリエイティブの可能性を評価します。

●CapCut AI Creative Award / CapCut クリエイターコンテスト連動

●Best Use of Voice - presented by ElevenLabs / 最優秀音声表現賞 presented by ElevenLabs

各アワードの詳細はAIFJ公式サイトで公開しています。特別賞はAIFJの表彰式プログラム内で実施します。



<https://www.youtube.com/watch?v=aYM04jE0osQ>

実践から業界対話、本祭までをつなぐAIFJ 2026の年間活動

AIFJ 2026は、制作実践と業界対話を通年で循環させ、メイン・フェスティバルで広く共有し、国内外との連携を通じて次の創作・事業・コラボレーションへつなげます。

制作実践から業界対話、メイン・フェスティバルへつなぐ年間の活動ステップ

●クリエイティブファウンドリー (Creative Foundry)：制作・検証

クリエイターが新しいAI技術を実際の制作工程で試し、ワークフローや表現の可能性を検証する実践プログラム。

●インダストリーフォーラム (Industry Forum)：企業・業界関係者との対話

企業、IPホルダー、制作、広告、メディア、Technology等が、AIの実装、ユースケース、権利、事業活用などを議論する業界対話の場。

●メイン・フェスティバル (Main Festival)：作品・人・企業を広くつなぐ

年間の活動を通じて生まれた作品、知見、議論、人のつながりを集約し、クリエイター、企業、業界関係者、観客が一堂に集まる旗艦イベント。

●国内外連携 (External Pathways) | 外部との接続と還流を強化

SusHi Tech、StartSphereをはじめとする国内外のイベント、コミュニティ、企業・団体との連携を通じ、AIFJで生まれた作品、人、知見を外部へつなぐとともに、海外のクリエイター、企業、技術、機会をAIFJの活動へ還流させます。



チケットを購入する

第1回開催の反響で広がるグローバルテクノロジー企業との連携

AIFJ 2026では、Alibaba Cloud、CapCut、ElevenLabsなど、グローバルなAI・クリエイティブテクノロジー企業との取り組みも展開しています。Creative Foundry、Industry Forum、Sponsored Special

Awards、Main Festivalを通じ、単なる製品紹介やロゴ掲出にとどまらず、実制作・業界対話・作品・市場との接点へつなげていきます。

第1回800名超の来場から、第2回は、来場目標2,000名へ

第1回Main Festivalには800名以上が来場し、AIFJの関連活動を通じた接点は累計1,500名以上へと広がっています。2026年はMain Festivalの来場目標を2,000名規模とし、クリエイターや制作関係者と、企業、IP、メディア、Technology、Startup、投資家など、異なる立場の参加者が同じ場所で出会える環境をつくれます。

第2回AI日本国際映画祭 - AI Film Festival Japan 2026 | 開催概要

名称	AI Film Festival Japan 2026
開催日	2026年10月31日（土）～11月2日（月）
会場	Tokyo Innovation Base（TIB）
主催	株式会社 AI Film Japan (代表：栗本一紀)
主な内容	AI Film Screening / Awards Ceremony / Business Conference / Industry Program / Partner Program / Networking etc.
チケット発売開始	2026年10月2日（金）
チケット購入	https://luma.com/aifilm-yp7c
公式ウェブサイト	https://aifilm.jp/

AI Film Festival Japan（AIFJ）について

AI Film Festival Japanは、AI時代の新しい映像表現とクリエイターを社会へ届ける映画祭を起点に、Creator、Production、IP、Media、Technology、Enterprise、Capital、Globalをつなぐプラットフォームへ活動を拡張しています。新しい技術によって生まれる表現を作品として届けること、そして作品を生み出す人と次の可能性をつなぐことを目指し、Main Festival、Creative Foundry、Industry Forum、国内外との連携を展開しています。



AI FILM FESTIVAL JAPAN

報道関係者お問い合わせ先

E-mail : media@aifilm.jp

Web : <https://aifilm.jp/>

AIFJのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/189364